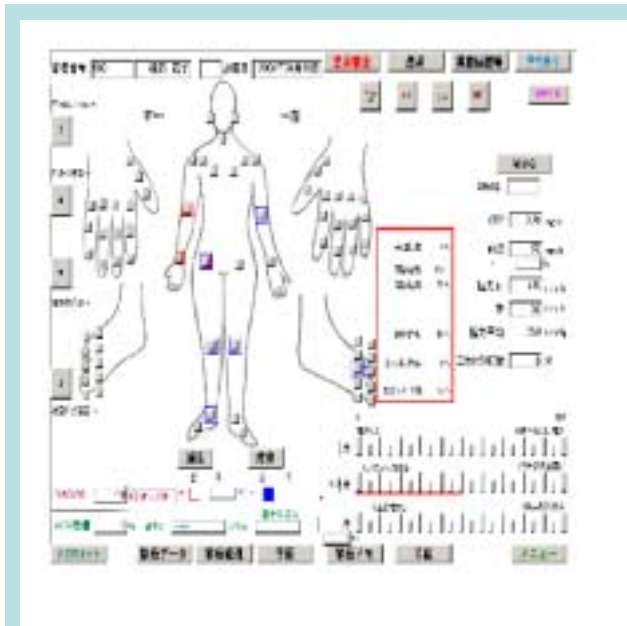


リウマチ、膠原病、骨粗鬆症 診療支援システム

リウマチくん

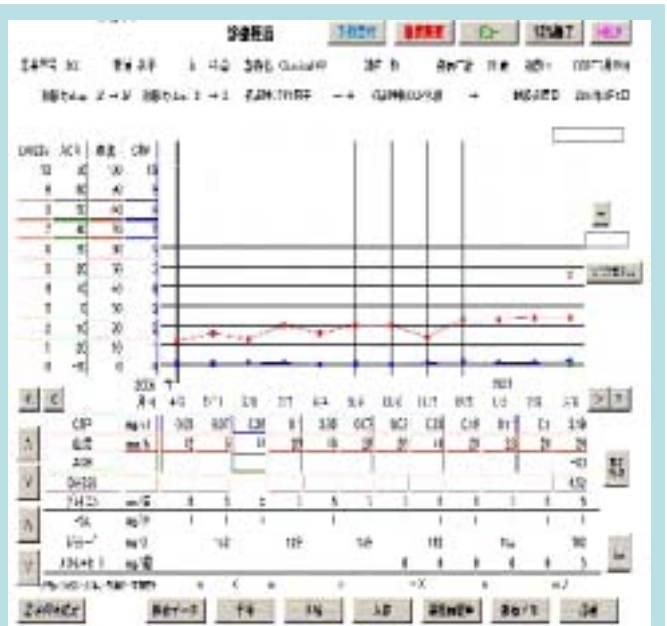
リウマチ患者様の薬物治療の効果情報、腫れと痛みの関連等の診療経過を画面で管理できるように、日本リウマチ学会指導医の先生が基本設計されたシステムです。
医師の皆様の使い易さと、リウマチ患者様への診療支援を目的としています。
炎症マーカーの経時的推移と使用している薬剤がグラフ化され同時表示されます。治療状況把握が瞬時にできるシステムの機能は、治療方針を決めていくことに役立ちます。

〔人体図画面〕



関節の腫瘍や疼痛、MHAQ、DAS28値や、薬剤の投与開始時との薬効効果、活動性評価を比較したACR値等の表示

〔診療経過画面〕



薬物投与量と腫れと痛みの関連、薬物の副作用の判定等の診療経過及びDAS28・ACR・CRP・血沈等の経時的推移とグラフの同時表示

治療状況把握が瞬時にできるシステムの機能は、
治療方針を決めていくことに役立ちます！
電子カルテとの連携で診療の効果が上がります。



1. ごあいさつ

リウマチシステムは、(九州医療センター非常勤講師)の先生がパソコンを利用しての20年以上の診療及び研究を基に設計されたシステムです。医師の皆様の使い易さとリウマチ患者様への診療支援を目的としています。

2. リウマチシステム概要

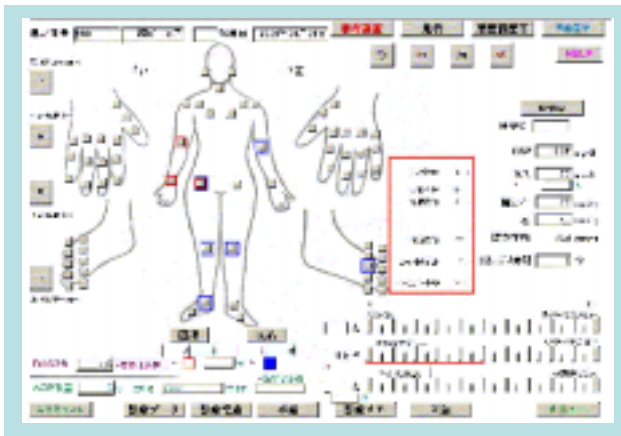
関節リウマチは、治療を始めてから治療効果が出るまで時間を必要とします。

システムでは腫脹関節数、疼痛関節数や、MHAQこわばりのマウスから入力。血液検査での炎症値、CRP、血沈値の表示、DAS28値や薬物の投与開始時との薬効効果、活動性評価を比較したACR改善値等の管理ができます。

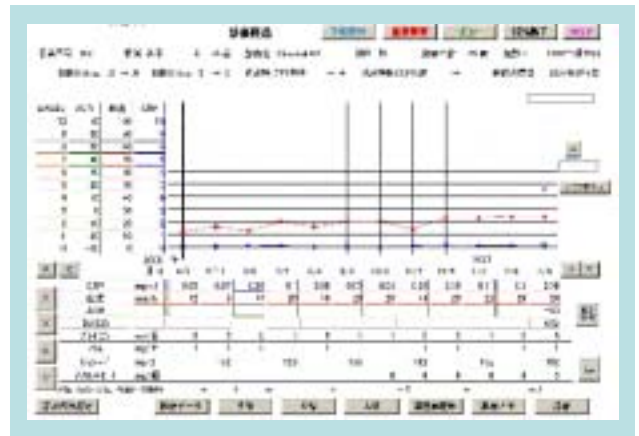
症状改善値効果が不十分の場合には、治療薬の増量や変更が検討されますが、副作用に注意しながら抗リウマチ薬を投与します。このような治療薬と、腫れと痛みの関連等の診療経過を画面で管理できるようにシステム設計されています。

診療経過画面では、患者様の診療効果情報が数値等のグラフ表示によって瞬時に1画面で判ります。治療状況把握が瞬時にできるシステムの機能は、治療方針を決めていくことに役立ちます。

人体図画面



診療経過画面



オプションシステム

医事システム、電子カルテシステムとのシステム連携

- ・患者情報
- ・薬剤情報
- ・検査情報
- ・画像情報

【ユーザー】

近藤リウマチ整形外科クリニック 国立九州医療センター整形外科 和田整形外科医院 九州記念病院
九州大学病院整形外科・第一内科 岡山大学病院整形外科 国立大阪南病院整形外科 柳整形外科医院
久留米大学医療センター 九州労災病院整形外科 潤和会記念病院 豊見城中央病院(電子加連携)
鹿児島赤十字病院 熊本市民病院 大分医科大学病院 福岡大学病院 原土井病院 国立福岡東病院
兵庫県立加古川病院 京都府立医科大学病院 上板橋病院 参天製薬 城山病院 篠田整形外科
国立別府医療センター・リウマチ科 福岡和白病院 リウマチ・関節症センター(電子加連携)
鶴上整形外科リウマチ科

3. リウマチ システム導入のメリット

リウマチ患者情報の包括的管理によって治療方針の決定に役立ち、リウマチ患者様の診療に効果があります。

人体図に関節の腫瘍や疼痛部位の入力ができ、ACRコアセット、握力、アナログスケール、MHAQ、こわばりの入力によってDAS28値、ACR値を表示できます。これらの特長は、患者様への診療に役立ちます。

診療経過画面では長期の診療内容が1画面で瞬時に確認でき診療に大きく役立ちます。年間検査値をグラフ化できます。DAS28値、ACR値、MHAQ値のグラフも1画面で確認できます。RAHA等の様な検査は、対数目盛を使用したグラフ表示ができます。

リウマチ統計システムの機能は、患者情報の15種類の選出条件と、選出した患者データをEXCELデータに変換する機能があります。これにより、患者診療から研究までを一貫してできるようになりました。

近藤リウマチ整形外科クリニック 近藤正一先生 2009.01.01



関節リウマチの薬物治療では抗リウマチ薬やステロイド剤、そして最初の生物学的薬剤等を組み合わせで行っています。これらリウマチの薬物治療で、もっとも大切なのは患者さんの臨床経過、特に薬剤の効果を瞬時に判定し治療方針を決めていくことです。いわゆる「リウマチのタイト・コントロール」です。そのためには炎症マーカーの経時的推移と使用している薬剤がグラフ化され同時表示される、このコンピュータソフト「リウマチくん」が最適です。私が約1,500名のリウマチ患者さんの病状を周到に管理しているのも、コンピュータソフト「リウマチくん」のおかげです。また、このソフトからは種々の統計データも抽出可能で、学会・研究会の発表にも大変有用です。

九州記念病院院長(リウマチ科) 武内晴明先生 2010.09.24



新リウマチシステムは関節リウマチ(RA)患者のデータをグラフ化することにより、現在のRA患者の状態のみでなく、治療経過を一瞥して把握可能である為、治療方針などの決定に非常に有用であり、RA治療法の羅針盤としての役割を十分に果たしている。以前はRAの活動性の評価に核施設ともLansbury Indexを使用(私は現在も引き続き使用中である)していたが、生物学的製剤の時代になり、活動性評価にDAS28がルーチンに使用されるようになってきたが、人体図からのごく短時間での入力(30秒から1分程度)でDAS28(CRPとESR)が計算できるので非常に便利である。さらに、各施設の電子カルテまたはオーダリングのシステムからデータの移行が可能でデータの手入力作業がほとんど必要なくなった為、この新リウマチシステムを導入することによりRAの診療の能率が飛躍的に改善した。

国立病院機構 別府医療センターリウマチ科 末永医長 2010.10.07



2011.04 電子カルテ連携

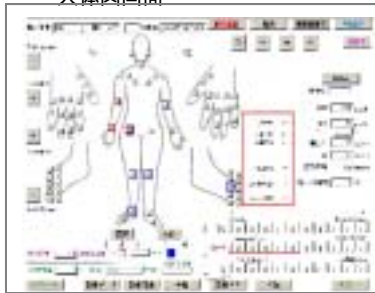
福岡和白病院 リウマチ・関節症センター長 林和生先生 2010.11.16



S.S電子カルテ連携

4. リウマチ システム 画面 (一部) ご紹介

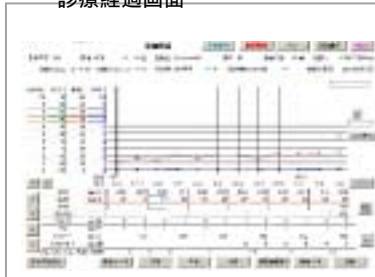
人体図画面



人体図画面では、マウスをクリックして関節の腫瘍や疼痛を入力します。

ACRコアセットや握力、アナログスケールが入力できます。次に、MHAQこわばりをマウスをクリックして入力します。これにより、DAS28値や、指定した薬物の投与開始時との薬効効果、活動性評価を比較したACR値を表示します。

診療経過画面



診療経過では、長期の診療内容が1画面で確認でき、薬物の投与量と腫れと痛みの関連等の診療経過を瞬時に1画面で管理できるように設計されています。これらの特長は、治療方針の決定に役立ちます。DAS28値、ACR値及びMHAQ値のグラフの表示ができます。また、RAHA等の様な検査は対数目盛を使用したグラフを表示できます。

5. リウマチ システム 動作環境

コンピュータ本体

- ・ Intel Celeron 2.4GHz 以上または互換CPUを搭載したパーソナルコンピュータ
- ・ インストール時にCD-ROMドライブが必要となります。

基本ソフトウェア

- ・ Microsoft Windows XP 日本語版、Windows Vista 日本語版

必須ソフトウェア

- ・ Microsoft Access 2000、Microsoft Access 2003 (推奨)、Microsoft Access 2007 がインストール済であること。

ハードウェア

- ・ メモリー：1GB以上
- ・ HDD：500MB以上の空領域
- ・ カラープリンター：診療情報提供書に添付する診療経過表等出力 (カラー・グラフ機能)

販売元



ビーテック株式会社

福岡営業所

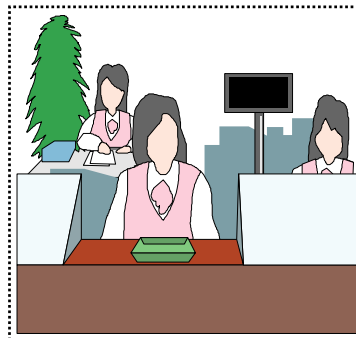
福岡市中央区渡辺通1-1-1

サンセルコ3F

TEL: 092-725-5601

e-mail: info@fukuoka-btec.com

http: //www.fukuoka-btec.com



リウマチ診療システム「リウマチくん」
保険証スキャナ自動入力システム「新保険証くん」
富士通 HOPE/SX-J版、HOPE/SX-R版
日医標準レセプトソフトORCA版
調剤薬局システム「Apobahn」